

銀色の道

夢叶うまで挑戦

学志舎 塾長 山田勝登

みなさんこんにちは。本当に本当にお久しぶりです。Vol.9 が一昨年の 5 月 21 日ですから、なんと 19 ヶ月ぶり。書かなければいけないと思いつつ…。

これは実は Vol.9 の出だしと同じ文句です。2 ヶ月に 1 回書かなくてはと思いつつ、またまたこんなに長い間があいてしまいました。前回と同じくこれは「ブログのせいだ～」と言い訳は出来ません。

何を言われても何とも言いようがありません。

とにかく言い訳は一切せずに、今回は明座に写真で振り返る 2008 年度前半からどうぞ。

◆バス旅行◆

3 月 31 日から車中 2 泊で東京ディズニーランドへ行ってきました。今回で 4 回目ですが、私は今まで行ったバス旅行の中でもこの TDL が大の苦手。なぜってバスの中で眠れないからです。

何度も何度も目が覚めてしまいます。行きは皆ワクワクして、消灯後も話をする生徒に注意することがありますが、帰

今回のトピックス

- ◇写真で振り返る 2008 年度前半
- ◇四方山話
- ◇2009 年度に向けて
- ◇子供の心のコーチング
- ◇編集後記

Mail info@gakushisha.com

りはみんな疲れてしまって、見事なくらいに寝入ってますね。しかし私は眠れない。生徒がうらやましくて仕方がない！



大型 1 台、中型 1 台で伊奈波神社出発

毎度園内で出会った生徒の写真を撮るのですが、今回は本当にみんなどこに雲隠れしたのかと思うくらい出会わなかったですね。



「はいポーズ！」という声に、即座に笑顔でピースのT. MさんNさん姉妹。このバス旅行は今までに TDL&S、USJ、長島 SL へ行っていますが、次回は順番的には「長島」ですが、富士急ハイランもどうかと考えています。そのうちにアンケートをとりますので、ヨロシク！

◆理科実験◆

5・7・9月には本年度より定期授業になりました、理科実験授業を実施しました。5月には高分子の実験・オリジナルプラスチック成型。自分の指の形のプラスチックをつくりました。指紋までクッキリハッキリ出るので、生徒はびっくり。指だけでは飽き足らず、はさみを突っ込んで、型をとった生徒もいましたね。



プラスチックの入ったカップに指を入れ、固まるのを待つ 青山中学2年T. Aさん



「私のプラスチック、まだかたまらない!!!」

東長良小3年H. Eちゃんの指型プラスチックに注目。

7月は科学の実験・水溶液の性質。中学入試でも、高校入試でもおなじみの分野ですね。この理科実験は学校でまったく習わないものと、入試直結分野を組み合わせています。

おなじみのBTB溶液、フェノールフタレイン溶液を使って液性と色の変化を確認しました。そしてリトマス紙を使って、さらにはまずお目にかかれない紫キャベツの色変化まで実験しました。

試薬名を伏せての実験では結構皆当てることができましたね！



スポイトを巧に使って実験 長良西小6年H. K君

9月 天体の実験・月のあり方を勉強しました。

中学生は3年生で習う分野ですね。部屋を真っ暗にして実験しました。月の満ち欠けだけでなく、実力テスト・入試などでもおなじみ、内惑星の金星の勉強もついでにやっちゃいました。

なぜ金星は夜中には見えないのか？生徒の中から「それで金星って宵の明星、明けの明星って言われるんですね」との声も。



実験をする伊奈波中2年S君

◆春・夏の検定試験◆

今回も頑張って挑戦してもらいました。それでは各検定試験の合格者発表です。

●漢字検定

富田高校2年	S.S君
伊奈波中3年	H.Mさん
長良中2年	O.Cさん
青山中2年	T.Aさん
梅林中1年	H.T君
岩野田中1年	W.G君
岐阜小 6年	I.K君
長良東小5年	H.Hさん

●英語検定

伊奈波中3年	T.T君
〃	T.Aさん
岩野田中3年	A.Mさん
伊奈波中学2年	H.T君
〃	S.Hさん
〃	Y.Hさん
梅林中2年	H.Aさん
長良中2年	T.Mさん

●数学検定

長良中3年	K.Y君
梅林中2年	H.Aさん
伊奈波中学2年	Y.Hさん
長良中1年	O.Y君
岐阜小 5年	N.Sさん
長良東小5年	H.Hさん

●歴史検定

聖徳学園高校1年	I.Sさん
伊奈波中3年	T.T君

それでは数検・英検に見事合格した梅林中2年Hさんの感想をどうぞ。



自分への挑戦 梅林中2年 H. A

私が検定試験を受けてみようと思った理由は自分の実力を知りたいと思ったからです。でもその片隅には面倒くさい・大変だからいや、というマイナスの心が正直言ってありました。しかし検定試験を受けてみれば、自分はどのくらいのレベルにいるのか知ることができるし「頑張ろう」という意志と「受けてみない」という勧めもあったので受験を決意しました。検定を受けるまでの準備として、日頃の取り組みでは、まず毎日3ページというように、自分で目標を決めました。そして自分の苦手な所、分からない所に関しては塾で質問するなどして学習しました。

検定試験の当日は、日頃通っている学志舎であっても緊張しました。「もし合格しなかったら・・・」「解けない問題があったら・・・」というような不安ばかりでした。けれどもその緊張も、問題を解いていくうちにやすらいで、スムーズに問題に挑むことができたので良かったです。

誰でも初めてやること、初めて会うものに緊張するのは同じです。しかし、それに恐れず取り組もうという勇気で立ち向かえば、きっと自分なりのいい結果が出てくると私は思いました。

私はまだまだ検定受験の初心者なので、これからもいろんな検定にチャレンジし、自分の実力を高めていけたらいいです。

誰でもはじめは「面倒くさい」とか「いやだ」と思うかもしれませんが、これから受けてみようと思う人はぜひ頑張ってみて下さい。私はこれからも、自分への挑戦を続けていきたいと思っています。

それが自分の力になるから ！

◆定期テスト6月◆

前回より実施している、ワークテスト作戦を今回も実施しました。これは学校のワーク、教科書を完璧にすることを目的としています。

テストは学校の教科書、ワークを完璧に理解・暗記しておればまず8割はとれます。学志舎ではこれを最低限のテスト前の勉強と考えます。

テストの問題を見ても、ワーク・教科書からそのまま引用した問題、少し数字を変えた問題、言い方を変えた問題でおよそ8割を占めます。

中には「ワークの問題が出なかった」と言ってできなかった生徒もいますが、問題を良く見ると、解き方・考え方は全くワークと一緒に、言い回しとか数字が違っただけとか…。すなわち理解し切れていなかったということなんですね。応用とか言う以前の問題です。その問題しか解けないのでは、理解ができてないといしか言いようがありません。もしくは国語力の不足です。試験前には「教科書とワークを完璧にする」こと、これが最低条件です。

8割理解して、はじめて「わかった」と言

えると思います。

そして、その上を狙う生徒はテキスト、さらにはプリントを学習します。

1 学期の期末テストで、ワークテストをや
り終えて、自己最高点をたたき出した、東
長良中学3年のT. S君に感想を書いても
らいましたのでどうぞ。



僕はこの3年生の1学期末テストで、5
科目アップに成功した。そしてそれは僕の
中学校での期末テストの自己最高点とな
った。その理由は自分では2つあると思う。

一つ目は、期末テスト前のワークテスト
を完璧にしたこと。2年生の3学期のテス
トでは、一応やり遂げたのだが、英単語や、
読解の名人など。ところどころやり残して
いた。しかし今回のテストではワークを完
璧に、英単語・読解の名人もしっかりやり
きり、テストに臨むことができた。

それにはなんといっても計画をしっか
り立てて、何時まではTV、何時からは勉
強というように計画を守りきることが大
切だった。それによって、テスト前にダラ
ダラした生活になら

ず、規則正しい生活が送れた。

2つ目は、目標を決めて毎日やる気を持
って学習できたことである。例えば僕なら、
絶対に志望校に行く！ など強い気
持ちをもって勉強ができた。テスト前の勉
強で心が折れてしまいそうになったこと
がある。でもその時、志望校のことを考え
て、その目標に向かいがんばることができ
た。

テスト前の勉強は、とても大変で、苦し
くて、正直勉強することがイヤになること
もあるけど、目標に向かって頑張って生き
たいと思う。次回の2学期の期末テストで
も、満足のいく結果、さらに自己最高を狙
って生きたい。

T君ありがとう。

彼の作文にあるように、3学期のテスト前
の勉強では、土日しっかり塾に出てワーク
テストを頑張りました。残念ながら3学期
のテストには結果としては出ませんでした。
しかし、必ずどこかで結果は出ると思
っていましたがやはり出ましたね。
大切なことは努力すること。すぐに結果に
出なくても、継続していれば必ず現れます
神様は見ていますから！



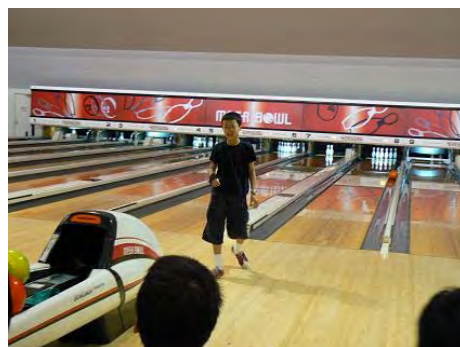
◆育真館開校 10 周年記念
ボーリング大会◆

一昨年の 9 月至誠館開校 10 周年記念で
ボーリング大会を開催しましたが、思わ
ぬ？好評で今回第 2 回のボーリング大会を
6 月 28 日にマーサボウルにて開催しまし
た。

いや～実に盛り上がりましたね。ワイワ
イガヤガヤ、ギャー、うそ～、イカン！
今回は前回に比べ多くの保護者の方に参加
していただきました。生徒ペアよりも親
子ペアの方が多かったようですね。

多くを語りません。写真を見てもらいま
しょう。

まずは「あ～あ、落ちちゃった」4 連発！



絶好調～！2 発



やった〜ストライク!ハイタッチ



あ〜ん、絶不調



お父さんのターキーすごいな



力投するお父さん&お母さん6連発

名前	3	4	5	6	7	得点
アキラ	7	⑧	-			
	47	55	85			
トモキ	4	2	G	-	G	6
	22	22	28	37		
アイコ	8	-	G	8	G	4
	12	20	20	24		HC=50
カズエ	G	1	G	-	5	4
	9	9	18	24		HC=20

トモキさん、勝ってください!

投球スピード: 29.1 km/h

会場は熱気ムンムン



応援に来てご主人・わが子の奮闘振りに目を細め
次回は私も？と思っているお母さん5連発





戦いが終わって、控え室にて結果発表を待つ



そして栄冠を手にしたのは

優勝 伊奈波中 2 年 M君&お父さん



副賞は東京ディズニーランドバス旅行だ！

準優勝 伊奈波中 2 年日 H君&お父さん

副賞は学志舎 2008 年度バス旅行



3 位 岐阜高校 1 年 K君S君

副賞は山田農園ミカン 15 キロ箱



BB 賞 青山中 2 年Tさん 付属中 2 年Iさん

副賞は山田農園ミカン 10 キロ箱



みんなの笑顔を見ていて決しました。
来年度から塾の恒例行事にします！

◆七夕大賞◆

今年も千鳥橋付近の川べりで竹を切ってきました。先生と生徒全員が2枚ずつの短冊に星に届け！とばかりに願いを書きました。



真剣な願いから、腹を抱えて笑えるような受け狙い見え見えの作品まで…。そして先生方が悩みながらも今年も七夕大賞を選びました。では先生方の心を揺さぶり(先生方に受けた?) 見事栄冠に輝いた生徒の願いを紹介します。まずは育真館から

一席 伊奈波中1年 大田O. I 「毎日いいことがありますように」



【寸評】 本当は誰もがみんなそう思っているのかもしれませんがね。本人のホンわかした雰囲気と絶妙にマッチして育真館の先生方の心をガッチリつかみました。

二席 付属小3年 O. M 「強い女になりたい」



【寸評】 う〜む…これは何か深い意味があるのでしょうか。一度お母さんに聞いてみたい気がしますね。「強い女」…おしんの様な女性？浜口京子やヤワラちゃんの様な女性？いえいえ、きっと彼女は素直に男の子に負けない女の子になりたいと思っているんですよね？

しかし従姉妹同士で1・2席を占めるとはお見事です！

三席 伊奈波中3年 K. T 「変革」



【寸評】 自分自身に言い聞かせているのでしょうか？それとも今の日本の社会に向かって言いたいのでしょうか？どちらにせよ力強い願いで堂々の3位です。先生方は前者とみたようですね！？

続いて至誠館です。昨年に続き先生方の票が割れ、選考が難航しました。本当に僅差の勝負でしたね。

一席 長良西小6年 大坪勇治
「兄弟を見返せますように」



う〜む、これは複雑です。先生方も票を入れながらどういう意味なんだろう？やさしいお兄ちゃんとお姉ちゃんのはずなのですが、家庭内では我々には想像もつかないバトルがあるのでしょうか？？？お母さん教えてください！

二席 長良西小6年 田中智哉
「塾長が今以上にイケメンになりますように」



実は昨年の「小川先生がミスユニバースに優勝できますように」に続き、密かに連

覇を狙っていた田中君です。昨年、先生方は小川先生のレオタード姿を想像して抱腹絶倒、思わず票を入れてしまった？

今年も同じ路線で攻めてみましたが、あと一步のところで惜しくも2位。ところで、塾長はこの作品に票を入れたの？ノーコメントということをお願いします。

三席 岩野田中1年 若山元樹
「金と権力と力が欲しい」



何やら一昔前の政治家のようだぞ。もしかして、世界征服を狙っていたのでしょうか？…いや…現実にはお小遣いの値上げと、お兄ちゃんに負けない強さが欲しい？

この外選には漏れましたが、青山中学3年の山本紗生さんの「チームのみんなと一日でも長くバスケットをして、中体連で地区に行く…部活に頑張る中学生の、青春の香りがぷんぷんします。

長良中学3年大坪智子さん「お金がガッポリ入って、楽で楽しくてよい生活をしたい。べっそうもほしい。バカンスに行きたい。ビーチを独占する！」…よくぞここまで書きました！かなったら仕送りしてね？

梅林中学1年H. T君「3年生がぬけたあとユニフォームがもらえますように」これも部活にかける青春物語。

岐阜小学校5年N. Sさん「男子のけんかに勝つ※」絵文字に秘められたお怒りモードが良く分かります。岐阜小学校の女の子は男子とのバトルに闘志を燃やしているのでしょうか？

というわけで、年に一回の織女と牽牛のデートの日、みんなの願いは星に届いたのでしょうか？

それでは来年の七夕まで。

◆第8回「父母の会」研修会◆

今回で8回目となりました正式には「子供の成長を見守る父母の会」の研修会です。今回は長良川スポーツプラザで開催しました。



中体連の真っ最中の7月13日に行ったことは私の失敗でした。

日程を・・・中体連を考えてなかった。

初めから中体連で出席できないというお母さんがいましたが、それでも二桁の参加者があったので「よし、やるぞ!」と思っていたところ、土曜日の午後からキャンセルの嵐。

「先生、すみません。今日の試合勝ったもので明日も試合がありますので出られなくなりました」

4人目の電話に出たときには

「〇〇君、勝ったんですね」

「えっ？」

「いや～△△さんで4人目ですよ、明日出られなくなったという連絡は」

「そうなんですか。先生、資料だけでもいただませんか？」

「いや、お渡ししません」

「えっ？」

「そのかわり、秋に同じものをやりますので、ぜひお待ちしております！」

今回は初めて映像を使いました。パワーポイントが使えないので、野球のチームメイトに頼み、前日の夜の10時ごろから、翌3時まで動画を作ってもらったのです。

私は前日の昼過ぎから、骨子だけ決めていた内容の原稿を作るのに没頭。出来上がったのが当日の朝9時。

晩御飯と朝のシャワータイム以外はペンを握り、ひたすらレポート用紙と格闘していました。約19時間かかって出来上がりましたが、右手の中指が痛くて…。

普段キーボードは打っても、書くことはありませんいので。



来年度は日程を考えます。

内容は、成功した人間と、そうでない人間の根本的な違いは何か？これから生きる子供達に必要なものは何か？親が子供に望むもの、を私なりに気合を入れてプロジェクターも使ってお伝えしました。

参加してくださった保護者の皆さん、本当にありがとうございました。参加してくださるあなたのおかげで、私もまた勉強することができます。

◆Summer Project2008◆

今年の学志舎の夏プロのテーマは
飯を食え！ 本を読め！ 空を見ろ！
でした。

夏プロに入るまでに生徒皆にピート・グレイ（隻腕の大リーガー）のDVDを見てもらいました。片腕でありながら、大リーガーの夢を追いつつ、そしてその夢を実現した選手の話です。

そして彼の写真と彼が残した言葉を、夏

プロ序文の最後に掲載したのですが、
なんと…英語のスペルを2箇所も間違えるという、君たちがよくいう「チョー」
恥ずかしい失態をしてしまいました。

A winner never quites!

勝利者は決してあきらめない

隻腕の大リーガー—Pete Grey



序文の最後は↑こういう風に締めくくっていましたよね。

みんなに配布した夜、もう一回読み返した瞬間「あっ、winnerのnが一個抜けている！」

あ～あ、やってしまった、と思いながらまだ何か違和感を感じる。

「ん、何だ？あつ！」quitsに余分なeがついてquitesになっている。

…誰も指摘しなかったのは、きっと先生の立場を思っの優しさなのでしょうね？

夏プロの結果は8月最終週に行われた学力テスト、岐阜新聞テストに現れました。さすがに中3生はほとんどの生徒が結果を出しましたね。（4月の学力テスト比）

やっぱり「200時間特訓」は威力があります。苦しい分だけその成果は現れます。

200時間特訓の100時間は、月～金曜日の昼の1～6時の間の学習です。

実は3年前から休憩時間に、少々お遊び要素のゲームを取り入れてます。学校対抗とか、くじ引きでチームを作ってゲームをしたり。

どんなゲームかというと、ホワイトボードに制限時間 15 秒で、問題の解答を書いていくゲームです。



歴史上の人物・日本の地理（山・川・平野）・世界の国名・変わったところでは魚の名前とか。そして先生チーム（私とアシスタントのもう一人の先生）が負けると、勝者の生徒チームにアイスをおごる。

決着がつかず10分の休憩時間が45分間になってしまったことがありましたね。しかし、なぜこんなことをやっているのか？わけがあります。

12年間受験生の特訓講習をやって気づいたことがありました。その年によって夏休み最終週に実施される岐阜新聞テストの結果の全体としての伸び（4月の学力テスト比）に違いがあるのですが、その原因は何か？

全体の生徒が学校の隔てなく仲良しになった年は伸びが良く、学校単位でしか話をしない年はもう一つだったのです。いるんですよね、社交家が。

ほっといても休憩時間に他の学校の生徒に話しかけ、みんなの接着剤となるような生徒が。そして休憩時間わきあいあいと過ごした、そんな年は本当にいいんですよね。

これは7月、11月の「父母の会」でも紹介しました関西のトップ進学塾、H学園でトップ講師をしており、その後「N学園」創設の中心人物となった（株）AのK会長が講演会で言っていたことにも共通すると思います。

それは何か？K会長が何度も経験したそうですが、成績がほぼ同じクラスが2つあったとしましょう。Aのクラスはいじめとか、陰険な競争などでギスギスした雰囲気、もう一つBのクラスは皆仲が良くアットホームな雰囲気です。入試のときに、当落線上にいる生徒の合格率が不思議なことにまるで違うらしいのです。Aクラスの当落線上の生徒はほとんどが不合格になり、Bクラスの当落線上の生徒のほとんどが合格するそうです。

そういった理由で、過去の超真面目特訓講習会から様変わりをしたのです。

やはり、勉強ばかりでなく時には楽しみ、息抜きも必要ですね。

で、今年も先生チームから、生徒チームへアイスクャンデーの配給がありました。歴史上の人物問題で、負けてしまいました。

昨年の中3生には「チーム2008」「今年の中3生には「チーム2009」と名づけました。2008年組の皆さん、期末試験の後に同窓会をしましょう！

というわけで、今年も無事終了した夏プロ。しっかり計画学習をやり通した生徒は、やはり結果が出ていますね。それでは8月の学力テストで4科目アップした東長良中学1年S君の感想をどうぞ。彼はこの4月から新設した「論理エンジンコース」をとっています。その国語の伸びが特に顕著でした。(偏差値 52→59→61)



僕は8月の学力テストで成績が4科目アップしました。理由は2つあると思います。

一つ目は「夏プロ」の計画をしっかりと立てて、毎日計画にあわせてやっていったことです。そうすることによって、今日は何を勉強すればいいのか、と考えることなく学習できました。計画を立てることで、多すぎず少なすぎず自分の一日の勉強量を定めることができたと思います。「計画力」もついたと思います。

二つ目は「論理エンジン」を一生懸命やったことの結果だだと思います。それで国語が一番上がりました。文法力・読解力がつきテストでの文章問題がずいぶん解けるようになりました。それ以外にも日記や作文などでも、論理エンジンで習ったことが応用できるので便利です。

「夏プロ」は結構大変だったけど、この2つのことで、さまざまな力がつきテストでいい結果が取れたのだと思いました。しかしまだまだできてない部分もあるのでこれからも頑張りたいと思います。

S君ありがとう。

国語力に関心を持つ保護者の中では「速読」に並び「論理エンジン」という名前もかなり浸透してきたようです。他県の友人の塾でも「論理エンジンのコース」という指定で入塾してくるケースも増えています。お母さん方の中でもネット検索をして「論理エンジン」を調べている方もおられますね。

すばらしい教材です。ただこれは通り一遍の学習では力につきません。本当に繰り返し繰り返しどくらい徹底することで、驚くほどの国語力・読解力がつきます。

◆今週の一言◆

夏プロにはいってから教室の前に「Welcome」の看板を持って立っていた、育真館はマナ坊、至誠館はマナビー(2年前まで教えてもらった山口先生の命名)に顔が入りと今週の一言が下げられるようになりました。

顔は塾生の写真です。今週の一言は本人の思いをこめた?一言というより言いたいことです。中3生から順番に下の学年に回っています。では紹介しましょう。

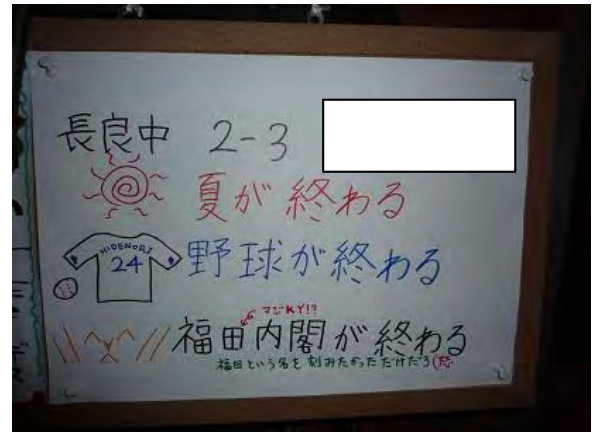
まずは育真館のまな坊から。
岐阜小学校5年N. Sちゃんの一言。



漢字検定にかかる意気込みがひしひしと伝わってきますね。このニュースレターがカラーじゃないのでわかりませんが「勉強」という字を黄色とピンクと赤で囲んでいるんです。で結果は？

はい、もちろん合格でしたよ。

続いて至誠館のマナビーです。
長良中学2年のI. J君のコメントです。



福田首相が辞めた直後でした。

「福田内閣が終わる」の上には見えにくいのですが矢印で「マジKY!?!」「下には「福田という名を刻みたかっただけだろ(怒)」と書いています。これも(怒)は真っ赤で書いていました。

中学生のI君がこんなに怒っているのですから、いい加減な政治家に対して大人はもっともっと怒らなければいけないのですが、日本国民は喉もと過ぎれば何と

かで…例えば悪いことをしても選挙でゾンビのように蘇り「みそぎは終わった」と涼しい顔。これでは政治家になめられるのは致し方ないところでしょうか？

というわけで2008年度の前半はこれでおしまいです。後半は次号で紹介します。

■四方山話■

1月16日、21世紀の教育を考える塾の会の同士、北海道は江別市で自立指導塾を経営しているI先生とS塾刈谷本校に入ってきました。

さすがに一校で1000人通塾するS屈指の教室でした。

で、何を目的に見に行ったかというと、教室とか授業風景ではなく、教材なのです。

12月にI先生から「山田先生、最強の教材ができますよ！」との電話。

I先生の塾は「自立指導塾」。その自立指導塾用の教材をS塾が開発中で、I先生がかなりの注文をつけたそう、その確認と出来ばえを見に行ってきたのです。

自立指導型の塾は、現在一斉授業、個別指導に続き塾の第3極の形態として少しずつ増えつつあります。私が最終目指して



いるのもその形態です。

今はまだ生徒の自立を目指しながら、個別指導塾をやっていますが、最終は自立指導塾に移行したいと思っています。

さて、その教材の出来ばえはいかに？

I先生曰く「完璧です。僕の出した注文通りほぼ仕上がっていますね。あと細々したことは、追々手直ししていけばいいですよ。Eトレ(自立&個別指導塾で多く使われているデータベース教材、I先生も現在使用している)よりもはるかにいいです。」



I先生と私と「21世紀の教育を考える塾の会」の代表M先生

確かに自立学習の塾の教材としてはいいなと思いました。ただすべてにいえることですが、それが使いこなせるか、管理できるかと言うことですね。I先生ならば間違いはありませんが、S塾で見た光景は…う〜む、少々問題あり。内容は言いませんが、あることをM先生に指摘され、担当のS塾のSさん「それなんですよ…。」

うちの教師なら間違いなく上手に管理できるでしょうね。

しかし担当の教材開発のSさん、すごい親切でいい人でした！

■2009 年度に向けて■

学志舎は変わりますよ！

すでに高校の部は「京大個別会」を導入しました。それに付随して、京大個別会の「そろばん塾ピコ」を学志舎の教室にて開校しました。

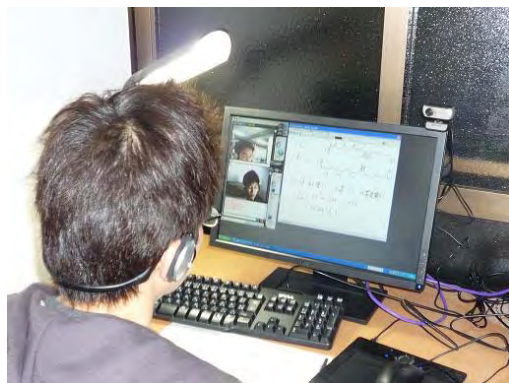
続いてロボット教室も開講します。小学生の低学年の新講座「エジソンクラブ」も新規開講予定。中学の新教材導入と、いろいろ見て周り、取り寄せ見学して、検討して、だいたい来年度の骨子が決まりました。

◆京大個別会◆

文字通り現役京大生が教師です。京都の平安神宮北にある本部と学志舎を TV 電話で繋ぎマンツーマンの指導を受けます。

学志舎が導入した後、岡山のK先生、大津のK先生、京都のO先生から私に電話があり、3 塾とも京大個別会を入れることとなりました。いいものに対してはやはり、皆思いは同じようですね。

私が説明するより、実際に授業を受けている生徒の声を聞いてみましょう。



京大個別入会第一号、育真館の岐阜高校 1 年K君の感想です。

京大個別会とは文字通り、「現役京大生から勉強を個別に教えてもらうプログラム」です。早速、僕も体験させてもらい、正式に授業をうけていますが、ポイントは3つあります。

① 頭のさえる先生 ！

京都大学といえば東京大学と並ぶ大学です。その現役生ですから、問題に対する解答を瞬く間に導いてくれます。さらに、何とこちらから教師を選べます！つまり、「数学の得意な〇〇先生には数学、英語の得意な□□先生には英語・・・」と、京大生を使い分けられるんです。(笑)！！これはかなり贅沢ですね。

② 人生のアドバイス

先生をなさっている京大生は、元からできる人々とも限りません。僕の教えてもらっている石原先生も、センター模試の英語で98／200をとってしまったそうです。そこからセンター本番は英語得点率、何と9割超！！

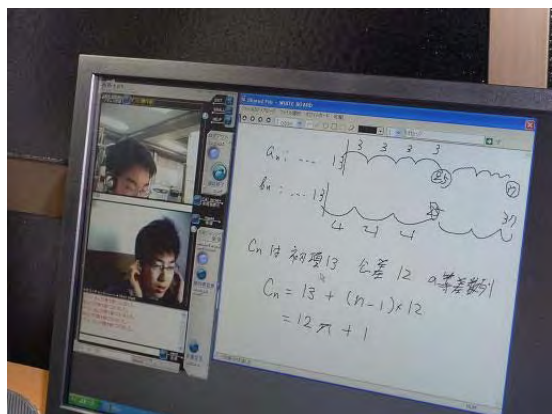
これだけ変わったのには何か理由があるはずですが、そんな^秘ノウハウも、京大生が直伝してくれるんですよ！？これはなかなかないチャンス。さらに進路、学習ペース、学部など色々と相談に乗ってもらえることもできます！

③ パソコンで受講！

何せ京大生です。わざわざ岐阜に来てくれるはずありません。だからテレビ電話で授業を進めます。相手の表情、声分かるのが安心できますよ。さらに、ディスプレイが黒板に早替わりします。相手を書くのはもちろん、自分もボードを使って書いたり消したりできます。かなりハイテクでしょ？

文章で京大個別会を表現すると、大体こんな感じです。生でやってみると、もっと驚くかと思います。自分の都合の良いように、現役京大生に指導してもらえます。それが「京大個別会」の魅力です。最後に、京大生の先生方は真面目な授業ばかりかと思っていましたが・・・体験学習であった2人の先生はメチャクチャ面白かったです。(その一人が石原先生)

K君の担当教師は、滝高校出身の大学院生の石原先生。写真の日は数ⅡBの数列で納得のいかない問題の解説をしてもらいました。



写真の様にペンタブレットを使い、相互でボードに書きこみます

小学生高学年の日々の学習から、定期テスト対策、はたまたセンター試験、2次試験の対策までおまかせあれ。

日下部君、赤門目指してガンバレ！

◆そろばん塾ピコ◆

京大個別会代表のTさんは、私と同じ愛媛県出身。といっても私の故郷のような下田舎ではなく、四国一の都会？松山市出身です。

あ、全く関係のない話になりましたが、右脳開発に関してどうやら算盤は良いらしいのです。となるとやってみたくなる私でしたが、ノウハウがない。というわけで京大個別会を導入した縁で、孝橋社長が展開する算盤塾を開校することとなりました。ちなみに私は小学生の頃、算盤塾に通ったことがあります。おばあちゃん先生と折り合いが合わず、という噂が聞こえていたのですが、怒られっぱなしで、いやになって2ヶ月足らずでやめたのが真相です。でも書道塾のおじいちゃん先生とは、怒られながらも相性が良かったので続けましたね。

さて孝橋社長は、今まで関わった120人の京大生にアンケートをとったそうです。その結果を教えてくださいました。

★120中119人はピアノを習っていた。

習ってなかった一人はバイオリンを習っていたそうです。

結論 - 京大生は譜面を見なくとも「ネコ踏んじゃった」「エリーゼのために」は弾ける。

★約 50%がソロバンを習っていた

結論 - センター試験で 9 割をとる学生は、やはり右脳開発されている？

★約 30%がスイミングに通っていた

結論 - おぼれている人を見つけたとき、京大生は飛び込むより、助けを呼びに行く？

★公文式に通った経験があるのは一人だけ

結論 - 塾業界に席を置いている人間ならば、小数であることは想像できますが、ここまで少ないとは…。

以上、孝橋社長のアンケートより。

◆ロボット教室◆

日本の理数系教科の国際的な学力が落ちていることは皆さんご存知だと思います。それに対して、本年より理科実験講座を開講しました。さらに来年度より小学生のロボット教室を開講します。

狙いは「探究心・思考力・想像力・創造力」などを養うということです。もちろんこれまた私にノウハウがあるはずがありません。どこのロボット教室がよいのか「21 世紀の教育を考える塾の会」の先生 3 人に聞いてみました。そして候補に挙がったのが今回採用したヒューマンキッズサイエンスのロボット教室でした。

ロボット教室と言えば「レゴブロック」を使ったものが有名ですが、ヒューマンも当初はその予定でした。ところがかの有名な、CM でもおなじみの高橋氏から「動き

が単純すぎる」と言うクレームが来てレゴを使わずに独自のものを作ることとなったのだそうです。「高橋智隆氏監修」と言うのは名前だけでなく、どうやら本物だったようです。これで決めました！



ロボット製作では日本の第一人者の高橋智隆氏
高橋氏は人間のように膝が伸びて美しく歩行するロボット「クロノイ」の製作で一躍世界にその名を広めました。



いや、オラ知らねえ～と言う人にはこれ

で分かると思います。パナソニックのCM
でおなじみの「エボルタ君」の製作者。



グランドキャニオンの断崖を乾電池2本で登ったんですね。ちなみに、このCMで体長が17cmのエボルタ君がロープ1本で登った530.4mの絶壁を、人間のスケールで置き換えると、身長160cmの人間にとっての4992mの高さ。有名どころの山を例にあげればマッターホルン(4477m)やモンブラン(4810.9m)より高いそうです。このパワーと根性凄すぎ？

乾電池の宣伝をしているわけじゃないのですが…とにかくこんなロボットを作った高橋氏監修のロボット教室です。

もちろんこんな緻密なロボットを製作するわけではありません。やはりレゴのようなものを使ったロボット製作です。2月、3月に体験学習会を実施します。お待ち下さい。

◆エジソンクラブ◆

これは年長さん～小学校4年生のクラスです。「新村式教材」を使います。

新村式教材って何？

はい、ご紹介します。

私立中学受験に興味がある方、ネットでハイレベルな小学生の教材を探したことのある方ならまず知らない人はいない塾・教材・テスト等で有名な「四谷大塚」。その四谷大塚主催の学力テストが昨秋全国の塾で行われました。

四谷大塚のテストですから、もちろん四谷大塚の教材を使った塾の生徒が全国トップをとるはずでした。6年生はちろん四谷大塚。5年生やっぱり四谷大塚。4年生…違いました。では何を使っていたのか？その生徒が通う京都の「T塾」という塾が使っていたのがこの「新村式教材」。

この事実に驚いた四谷大塚からT塾に連絡があり「何の教材を使ってるんですか？」と根掘り歯掘り聞かれたそうです。なんと3年生の4位の生徒もこの新村式で学習したたけのこ会の生徒だったのです。

ありがたいことに、こういう情報は北海道から九州まで情報網がある「21世紀の教育を考える塾の会」の先生が電話してくれて教えてくれるんですよ。この情報は滋賀県の「E個別伸学セミナー」のK先生からいただきました。

K先生ありがとうございます。



これは驚きの結果でした。
ということで早速教材を取り寄せて検討しました。一見「えっ、これで四谷のテストでトップを取ったのか？」と思うようなかんじでした。
しかし内容を見ていくうちに、なるほど、じっくり基礎を固めて…。

本年より学志舎が導入した「実感算数」(算数脳を育成する無学年教材)に通じるものがあります。

私の考えていたことは益々現実味を帯びてきました。というより間違っただけ。過去の OECD の国際テストの結果を見ても明らかなように、日本の文科省の指導通りの小学生の授業に沿った内容をやすることも否定しませんが、それでは国際的に子供達が後れを取ってしまう。これからの子供達が社会に出たときには今以上にグローバルな世界で仕事をしなくてはなりません。本当に子供達の能力を伸ばすのは、公教育の授業以外に我々塾業界に生きている者が、付加価値のある教育を提供す

ることであると。

実はこれは私だけの意見ではありません。これからの地域を、日本を担う優秀な子供達を育てたい、中学校に入って伸びる生徒の下地をつくろう、そのように子供の総合的な能力開発をしようと本気で考えている全国の先生方、といっても私の友人ですから 10 数人くらいですが、みな無学年(文科省が決めた学年で履修する内容ではないということ)でその能力を伸ばす教材を探し、個々の能力に合わせてやっていかないとはいえないと考え、動き始めています。

先生方と話をして塾の使命を「学校の補習」と考えている方はもういません。そしてそれを先立って実践している先生の塾には多くの子供達が学習しています。それはすなわち今の公教育のみに任せておけば、将来子供達が困ることは目に見えており、子供達に必要な本物の教育とは何か分かって、共鳴する親さんが多くなったということの証だと思います。

なにせ数年前の「ゆとり教育」を声高に叫び「これで塾へ行かなくともよくなる」と全く教育の現場を理解してない、そして日本の子供達のレベルを落とした、T大臣がいたような文科省です。この文科省についていくのではなく、塾としての独自の教育(学校+α)を提供するといった点では、正直言って私は会のコアなメンバーの中では最先端の塾ではありませんでした。

皆さんにお詫びします。



ただし速読&作文のコースは私が最先端です。私の元に先生方から問い合わせの電話が来ます。みな PC の画面で読むのではなく、本物の良書を手にとっての速読が最良であろうとの結論に達しています。それはそうですよね。教科書、ワーク、テキスト、テストすべて子供達が学習の場で読むのは本物の紙面の活字ですからね。また作文に関して今やっている内容はみなビックリしています。こんな作文練習があらうとは…。どうぞご安心を。

さてさて、話しは元に戻り、学校のペースで進む癖がついているので「ヤラナイ」「ヤレナイ」子供が出来上がってしまった。皆そう結論付けています。

それはそうですよね。我々の時代からすればずいぶん内容をそがれてきたのですから。ですから 5,6 歳から小学校の中学年までで、その基礎を作り上げ、高学年から中学校に大きな花を咲かせようと、みな一貫教育を考えています。

さあ、ここからが大切です、そして、その内容は…これから多くなってくるで

あろう公立中高一貫校が目指している、「PISA 型学力」

What's 「PISA 型学力」？

それは「知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかどうかを評価するもの」です。

すなわち、いままでの知識を単に詰め込むだけの、暗記中心の教育ではなく、それをどう実生活に活用できるか、その観点から見る学力です。

2007 年からの全国一斉学力調査で国語問題 B を見る限り文科省は「新しい学力」すなわち「PISA 型学力」を意識しています。高校入試も昨年度すでに PISA 型の読解力を問う問題が茨城県で出ています。「ことばの泉」の作文コースはまさに PISA 型に対応したコースといえますね。

文科省は 3 回の OECD の国際テストで日本の子供の国際順位が落ちたことで非難の嵐を受け、本格的に PISA 型学力に向かっています。新指導要領、中教審の答申などを見ても明らかです。小学校 5, 6 年生の「伸学コース」は来年度から算数→理系コース、国語→文型コースと名前が変わり、中高一貫校の入試対策の PISA 型問題を盛り込みます。算数を学習しながら理科も、国語を学習しながら社会も…初めての試みです。私の友人の中ではどこもやってないことなので、私自身わくわくしています。(少し心配?) でも子供たちは家庭学習・調べ学習が増えるので、あまり喜ばないかもしれませんね???

とにかく質的・量的にもボリュームがアップします。詳しくはもうすぐできる予定の2009年度塾案内にて。「銀色の道」を片付けし次第取りかかります。

新連載

◆子供の心のコーチング◆

以前の親力講座を中身と名前を新たにしてお届けです。事務長がネットで購入した本より。第一回目は



思い通りのお城ができて、マミちゃんのお母さんはとても得意そうです。ところが肝心のマミちゃんは、途中でお城作りを諦めてしまっています。できあがった立派なお城は、マミちゃんのお城と言うより、お母さんのお城ですね。

このお母さんには、マミちゃんのヤル気を奪うつもりなんてちっともありませんでした。ただ上手にお城を作れるように、一生懸命手伝ったつもりでした。それなのに、結果としてマミちゃんはヤル気を失っています。なぜでしょうか?

それはお母さんが「私がやってあげないと、まだちゃんとできない子」としてマミちゃんをみていたからです。

実はこれは、私たち親が子ども可愛さのあまりしてしまう、大きな勘違いなのです。私たち親は、昨日までの「できなかった」子供を前提に、積極的な保護・干渉＝ヘルプをしてしまいがちです。けれども子供の成長には目覚しいものがあります。昨日までできなかったことでも、今日はできるようになっています。親から見れば無謀なことにも懲りずにチャレンジして、自分の「できる」枠をどんどん広げていこうとしています。

それなのに、親がいつまでも「できない」子扱いのままヘルプばかりしていると、どうなるでしょう？

親の保護を受け入れてしまう子は「できない」子のまま、できなかったことへのチャレンジをやめてしまうかもしれません。そして自分の「できる」力を伸ばせなかった子供は、自立できずに、まわりに依存し続ける人生を生きることになります。

子供の自立を促すためには、子供の成長に合わせて、親も積極的に保護・干渉（ヘルプ）する親から、子供をそばで見守るサポート役に成長することが大切です。

年齢がくれば子供は何かにつけて「自分でやる」とアピールを始めます。それがサポート役への移行のサインです。できるだけ子供にまかせて、子供の「できる」力を引き出すことが大切です。すべきこと・してはいけないことを指図する代わりに、子供を静かに見守って、成功も失敗もたっぷり体験させるのです。

大切なことは見方を切り替えることです。子供の「できてないことを探す目」を、「できていることを認める目」に切り替えるのです。そうすると、子供を待つのが前よりも楽にできるようになります。ぐちゃぐちゃの砂のお城も、子供の「できる」力の結晶にみえてくるのではないのでしょうか？

我々親は当然のことですが、子供より先に逝ってしまいます。だから…と思う心が逆に子供の自立を遅くすることが多々あります。時には待つこと、我慢することも肝要ですよ。

というわけで「ヘルプ」から「サポート」へ、第一回コーチング講座でした。

◆編集後記◆

実はこれを書き始めたのは9月でした。そして少しずつキーボードを打っていました。私のワープロうちの遅さは紫陽花の葉っぱの上を這うカタツムリのようなんですよね。なんせほとんど左右の人差し指しか活躍していませんから…。

それは12ページまで打ったときに起きました。打ち終えた12ページまでを、フラッシュメモリーに保存したのです。実は初めて3ページまで打ったときにPCのDドライブに保存していました。打ち終えた12ページまでを、Dドライブにも残しておこうとコピーしたのです。何の気なしにコピーをしたつもり…だったのですが、気

がついたときには、私の顔は真っ青。
やらかしてしまいました。3 ページの D ドライブのフォルダーをフラッシュメモリーに上書き保存してしまったのです。しばし呆然。

なんで？なんで？せっかく 12 ページまで打ったの……。気を取り直して 10 月初旬、また打ち始めました。

さあ、この展開ではまた塾長は何かやらかしたと想像する方が多いと思います。その通りです。この頃、それまで使っていた 1 G のフラッシュメモリーが容量パンパンになったので、4G の小型の回転キャップ式のフラッシュメモリーを買ったのです。そして…D ドライブには保存せず、そのフラッシュメモリーに書き続けていました。3 ページからその後 18 ページまで行ったとき、なんと今度はフラッシュメモリーをどこかに無くしたのです。愕然。



これが 10 月の 14 日のことでした。なくした日付をはっきりと覚えています。

以来、執筆活動が完全に止まったままになりました。

たしかブログに「銀色の道」に執筆中っ

て書いた覚えがありますが、それが無くす前のことです。

しかし…9 月、長良中学校の運動会で、O 君・さん・君 (兄弟 3 人) のお母さんに「今、銀色の道を書いています！」といったことで、やらなければ！なんとか完成させなければと！年明けから少しずつ再開したのです。そしてもうすぐ完成までこぎつけられる様になりました。

残暑が残る 9 月の長良中学校のグラウンドでの会話が、この Vol.10 を完成させてくれたのです。

人間やはり、言わなければいけないね。言わなければ「まあ、いいか」と思ってしまうことがあります。

お母さん、ありがとうございました。

今、ホームページも少しずつ進んでいます。これは村瀬先生に手伝ってもらっています。この前の土曜日も 19 時から 0 時過ぎまで、手伝ってもらいました。私は彼の横で「ああしてくれ、こうしてくれ」と言うだけ。横で見ている私にとって、彼がマウスとキーボードを扱うさまは、まるで神業のように見えます。「おい、今どうやったんや？」「もう一回ゆっくりやってみてくれ」と私には分からないことだらけ。画面の変化に私はついていけない…。

12 月には、は塾のお知らせなどを打つのに、事務長の友人の知り合いの方をお願いして、打ってもらいました。私がやってると間に合わないのです。

とまあ、一人でやる限界を感じる、今日この頃です???

今週で市内のほとんど中学が学期末試験を終えます。(鶯谷中学が来週)

2週間の試験対策の学習を見ていて、「あ、この子、一皮むけたな～」と思う生徒が何人かいます。やらされているのではなく、自分で考えて学習ができるようになった。「自立したな～」って、うれしくなりましたね。



きっと結果は満足いくものが出てくることと思います。楽しみです。

やらされているうちは、なかなか成績も上がってこないものです。

うちの生徒みんなが「自立」できるように、教師ともども、精一杯のサポートをしたいと思っています。家庭で保護者の皆様も、よろしくお願いいたします。

新年度の塾案内ができていません。これを打った後にとりかかります。もうしばらくお待ち下さい。予想通り今回も、チラシ

作りに大幅に時間を取られてしまいました。すみません。

そしてもうすぐ「バス旅行」のお知らせもお届けします。当初は「富士急ハイランド」に行く予定でしたが、バス会社の営業の方から「雨が降ったら…」と言われ「あっ」。そうなんです、ディズニーとか **USJ** は雨が降っても屋内のアトラクションが多いので、何とかありますが、富士急は屋外のアトラクションが多いのでなんともならないのですね。

というわけで、4月の1日(水)のバス旅行は大阪ユニバーサルジャパンに決定しました。



今、事務長に撮ってもらった写真です。

次回、3月に2008年度後半の「銀色の道」Vol.11をお届けしますと宣言しておきます。毎朝ユーミンの「春よこい」を聞いてから、キーボードと格闘しています。

最後まで読んでいただきまして、ありがとうございました！